

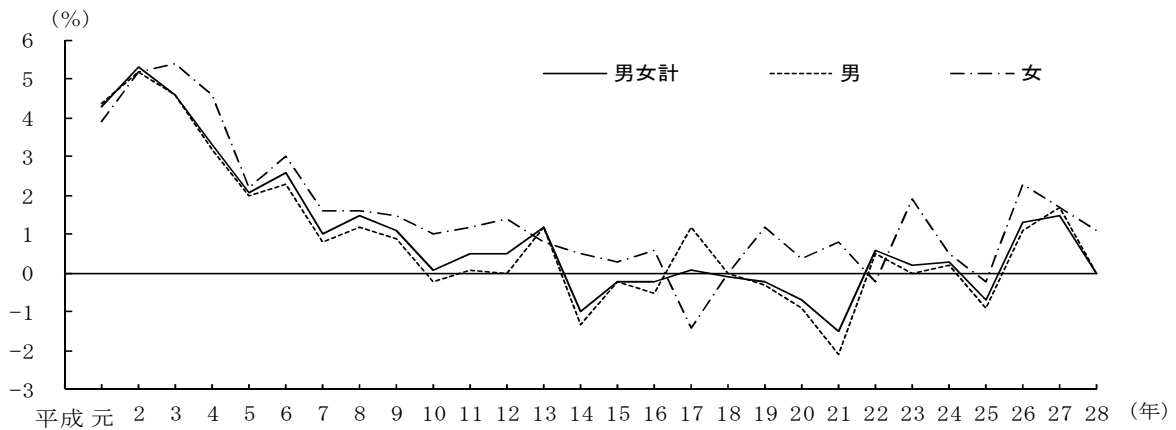
調査結果の概況

1 一般労働者の賃金

(1) 賃金の推移

賃金は、男女計304.0千円(年齢42.2歳、勤続11.9年)、男性335.2千円(年齢43.0歳、勤続13.3年)、女性244.6千円(年齢40.7歳、勤続9.3年)となっている。賃金を前年と比べると、男女計及び男性では0.0%と同水準、女性では1.1%増加となっている。女性の賃金は過去最高となっており、男女間賃金格差(男性=100)は過去最小の73.0となっている。(第1図、第1表)

第1図 性別賃金の対前年増減率の推移



第1表 性別賃金、対前年増減率及び男女間賃金格差の推移

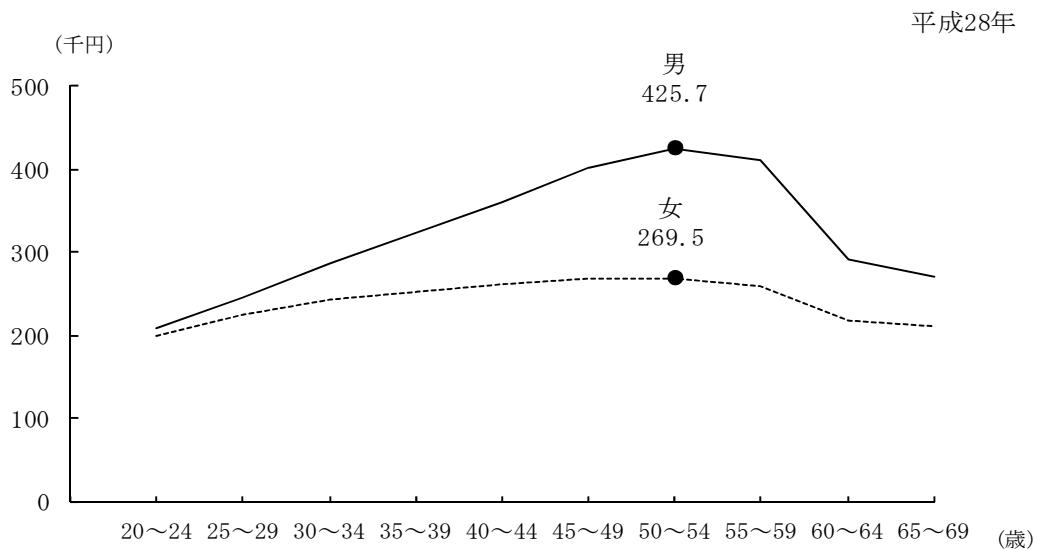
年	男女計		男		女		男女間賃金格差(男=100)
	賃金(千円)	対前年増減率(%)	賃金(千円)	対前年増減率(%)	賃金(千円)	対前年増減率(%)	
平成9年	298.9	1.1	337.0	0.9	212.7	1.5	63.1
10	299.1	0.1	336.4	-0.2	214.9	1.0	63.9
11	300.6	0.5	336.7	0.1	217.5	1.2	64.6
12	302.2	0.5	336.8	0.0	220.6	1.4	65.5
13	305.8	1.2	340.7	1.2	222.4	0.8	65.3
14	302.6	-1.0	336.2	-1.3	223.6	0.5	66.5
15	302.1	-0.2	335.5	-0.2	224.2	0.3	66.8
16	301.6	-0.2	333.9	-0.5	225.6	0.6	67.6
17	302.0	0.1	337.8	1.2	222.5	-1.4	65.9
18	301.8	-0.1	337.7	0.0	222.6	0.0	65.9
19	301.1	-0.2	336.7	-0.3	225.2	1.2	66.9
20	299.1	-0.7	333.7	-0.9	226.1	0.4	67.8
21	294.5	-1.5	326.8	-2.1	228.0	0.8	69.8
22	296.2	0.6	328.3	0.5	227.6	-0.2	69.3
23	296.8	0.2	328.3	0.0	231.9	1.9	70.6
24	297.7	0.3	329.0	0.2	233.1	0.5	70.9
25	295.7	-0.7	326.0	-0.9	232.6	-0.2	71.3
26	299.6	1.3	329.6	1.1	238.0	2.3	72.2
27	304.0	1.5	335.1	1.7	242.0	1.7	72.2
28	304.0	0.0	335.2	0.0	244.6	1.1	73.0
平成28年							
年齢(歳)	42.2		43.0		40.7		
勤続年数(年)	11.9		13.3		9.3		

(2) 性別にみた賃金

男女別に賃金カーブ*をみると、男性では、年齢階級が高くなるとともに賃金も上昇し、50～54歳で425.7千円（20～24歳の賃金を100とすると203.6）と賃金がピークとなり、その後下降している。女性も50～54歳の269.5千円（同135.1）がピークとなっているが、男性に比べ、賃金カーブは緩やかとなっている。（第2図、第2表）

※賃金カーブとは、年齢(階級)とともに変化する賃金の状況をグラフで表したものをいう。以下同じ。

第2図 性、年齢階級別賃金



注：線上の●印は賃金のピークを示す。以下同じ。

第2表 性、年齢階級別賃金、対前年増減率及び年齢階級間賃金格差

年齢階級	男			女		
	賃金 (千円)	対前年増減率 (%)	年齢階級間賃金格差 (20～24歳=100)	賃金 (千円)	対前年増減率 (%)	年齢階級間賃金格差 (20～24歳=100)
年齢計	335.2	0.0	160.3	244.6	1.1	122.6
20～24歳	209.1	2.0	100.0	199.5	1.5	100.0
25～29	245.8	1.0	117.6	225.1	1.6	112.8
30～34	286.9	1.5	137.2	243.4	2.1	122.0
35～39	323.8	0.8	154.9	253.6	1.8	127.1
40～44	360.7	0.3	172.5	261.4	-0.5	131.0
45～49	401.3	-1.1	191.9	268.0	0.5	134.3
50～54	425.7	-1.0	203.6	269.5	1.0	135.1
55～59	411.8	0.0	196.9	259.6	1.8	130.1
60～64	291.3	-0.2	139.3	218.2	-1.6	109.4
65～69	270.7	2.3	129.5	212.1	-5.3	106.3
年齢 (歳)	43.0			40.7		
勤続年数 (年)	13.3			9.3		

注：年齢計には、上掲の年齢階級に限らず、全ての年齢の者を含む。以下同じ。

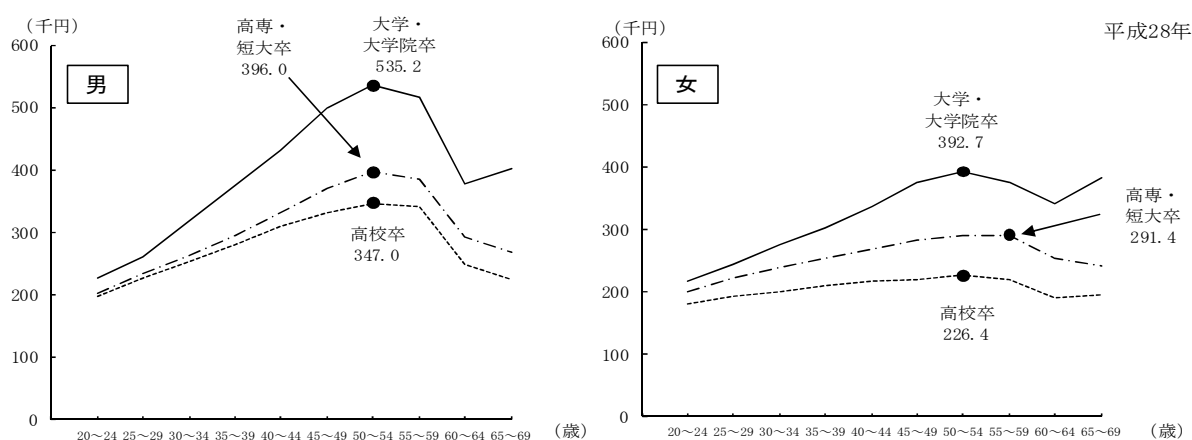
(3) 学歴別にみた賃金

学歴別に賃金をみると、男性では、大学・大学院卒が399.7千円（前年比0.7%減）、高専・短大卒が306.3千円（同0.8%減）、高校卒が288.1千円（同0.0%）となっている。一方、女性では、大学・大学院卒が288.7千円（同0.3%増）、高専・短大卒が255.6千円（同1.2%増）、高校卒が208.3千円（同0.3%増）となっている。女性の賃金は、全ての学歴において前年を上回っている。

学歴別に賃金がピークとなる年齢階級をみると、男性では、全ての学歴において50～54歳、女性では、大学・大学院卒及び高校卒で50～54歳、高専・短大卒で55～59歳となっている。

学歴別に賃金カーブをみると、男女いずれも大学・大学院卒の賃金カーブの傾きは大きくなっており、男性は女性に比べてその傾向が大きい。（第3図、第3表）

第3図 学歴、性、年齢階級別賃金



第3表 学歴、性、年齢階級別賃金、対前年増減率及び年齢階級間賃金格差

		大学・大学院卒			高専・短大卒			高校卒		
性、年齢階級		賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	年齢階級間 賃金格差 (20～24歳 =100)	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	年齢階級間 賃金格差 (20～24歳 =100)	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	年齢階級間 賃金格差 (20～24歳 =100)
男	年齢計	399.7	-0.7	176.5	306.3	-0.8	150.7	288.1	0.0	145.1
	20～24歳	226.4	1.9	100.0	203.3	1.9	100.0	198.6	2.2	100.0
	25～29歳	261.3	0.4	115.4	235.0	1.7	115.6	226.5	1.3	114.0
	30～34歳	318.5	1.5	140.7	264.2	1.7	130.0	253.3	0.6	127.5
	35～39歳	374.3	0.5	165.3	294.5	-0.2	144.9	280.6	0.6	141.3
	40～44歳	431.7	0.1	190.7	331.4	-1.5	163.0	310.5	-0.2	156.3
	45～49歳	498.0	-1.8	220.0	369.8	-1.5	181.9	331.1	-0.8	166.7
	50～54歳	535.2	-1.6	236.4	396.0	-3.2	194.8	347.0	-0.4	174.7
	55～59歳	517.3	-0.9	228.5	384.0	-3.0	188.9	341.9	-0.3	172.2
	60～64歳	377.4	-3.6	166.7	293.3	-0.6	144.3	249.7	0.1	125.7
65～69歳	401.9	4.3	177.5	267.0	-7.6	131.3	225.2	-0.2	113.4	
年齢(歳)	42.0			40.2			44.2			
勤続年数(年)	13.0			11.9			13.8			
女	年齢計	288.7	0.3	133.1	255.6	1.2	127.9	208.3	0.3	115.5
	20～24歳	216.9	0.9	100.0	199.8	2.0	100.0	180.3	2.2	100.0
	25～29歳	243.1	1.7	112.1	222.1	0.6	111.2	192.5	2.1	106.8
	30～34歳	276.8	2.0	127.6	239.2	1.8	119.7	200.3	1.3	111.1
	35～39歳	301.7	0.5	139.1	253.5	1.3	126.9	209.7	2.3	116.3
	40～44歳	336.1	-4.1	155.0	268.6	-0.3	134.4	216.4	-0.6	120.0
	45～49歳	376.0	-1.3	173.4	283.6	0.9	141.9	219.2	-0.6	121.6
	50～54歳	392.7	-1.7	181.1	289.5	0.9	144.9	226.4	0.6	125.6
	55～59歳	376.3	0.2	173.5	291.4	2.4	145.8	219.8	-0.3	121.9
	60～64歳	341.1	-11.6	157.3	253.9	-2.7	127.1	191.6	-1.4	106.3
65～69歳	* 382.1	-10.5	176.2	241.2	-13.4	120.7	196.5	-2.4	109.0	
年齢(歳)	35.4			40.5			43.9			
勤続年数(年)	7.4			9.7			10.1			

平成28年

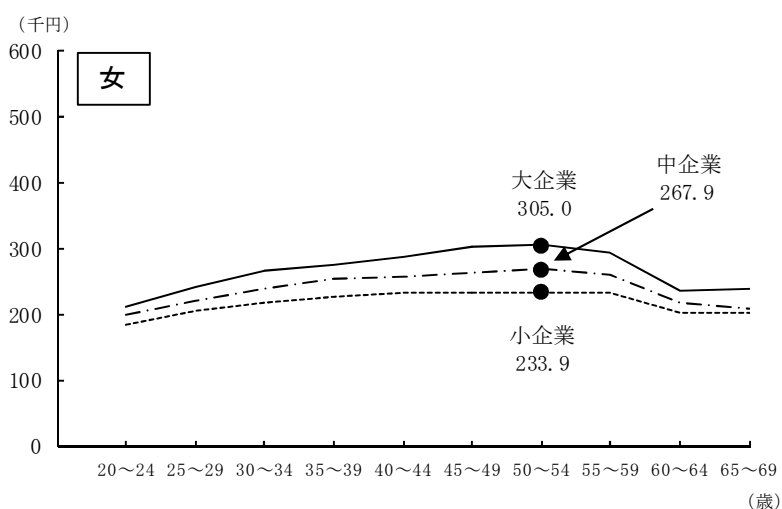
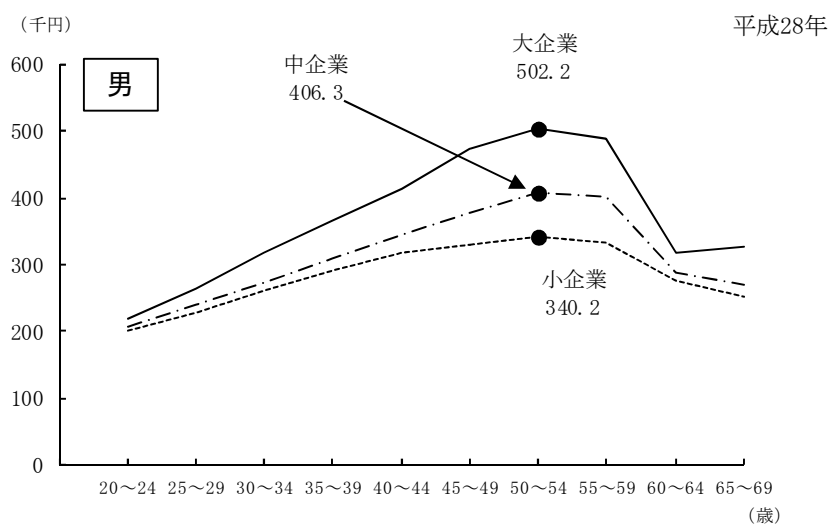
(4) 企業規模別にみた賃金

企業規模別に賃金をみると、男性では、大企業が384.8千円（前年比0.7%減）、中企業が320.2千円（同0.0%）、小企業が290.9千円（同0.8%増）、女性では、大企業が268.7千円（同0.1%増）、中企業が242.3千円（同0.8%増）、小企業が219.1千円（同1.2%増）となっており、男性は小企業が前年を上回り、女性は全ての企業規模において前年を上回っている。

また、大企業の賃金を100とすると、中企業の賃金は、男性で83.2（前年82.6）、女性で90.2（同89.6）、小企業の賃金は、男性で75.6（同74.4）、女性で81.5（同80.6）となっており、企業規模間賃金格差は男女ともに縮小している。

賃金がピークとなる年齢階級を企業規模別にみると、男女ともに、全ての企業規模において50～54歳で、男性では、大企業502.2千円（20～24歳の賃金を100とすると230.1）、中企業406.3千円（同196.8）、小企業340.2千円（同170.2）となっており、女性では、大企業305.0千円（同143.4）、中企業267.9千円（同135.0）、小企業233.9千円（同126.9）となっている。企業規模が大きいほど賃金カーブの傾きは大きくなっている。（第4図、第4表）

第4図 企業規模、性、年齢階級別賃金



第4表 企業規模、性、年齢階級別賃金、対前年増減率、企業規模間賃金格差及び年齢階級間賃金格差

平成28年

性、年齢階級	大企業			中企業				小企業				
	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	年齢階級 間賃金格差 (20~24歳 =100)	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	賃金格差		賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	賃金格差		
						企業規模 間賃金格差 (大企業=100)	年齢階級 間賃金格差 (20~24歳 =100)			企業規模 間賃金格差 (大企業=100)	年齢階級 間賃金格差 (20~24歳 =100)	
男	年齢計	384.8	-0.7	176.3	320.2	0.0	83.2 (82.6)	155.1	290.9	0.8	75.6 (74.4)	145.5
	20~24歳	218.3	2.2	100.0	206.5	1.4	94.6 (95.3)	100.0	199.9	2.7	91.6 (91.1)	100.0
	25~29	263.1	1.5	120.5	238.3	0.2	90.6 (91.8)	115.4	228.3	0.7	86.8 (87.5)	114.2
	30~34	317.4	1.7	145.4	273.1	0.6	86.0 (87.0)	132.3	262.0	1.5	82.5 (82.8)	131.1
	35~39	365.8	1.0	167.6	309.1	0.1	84.5 (85.3)	149.7	290.1	0.7	79.3 (79.5)	145.1
	40~44	413.2	0.5	189.3	344.2	-1.1	83.3 (84.7)	166.7	316.3	1.2	76.5 (76.0)	158.2
	45~49	474.5	-1.2	217.4	377.9	-1.3	79.6 (79.7)	183.0	328.4	1.0	69.2 (67.7)	164.3
	50~54	502.2	-2.4	230.1	406.3	-0.1	80.9 (79.0)	196.8	340.2	2.3	67.7 (64.6)	170.2
	55~59	487.1	-0.1	223.1	400.1	-0.2	82.1 (82.2)	193.8	332.9	0.2	68.3 (68.1)	166.5
	60~64	316.8	1.5	145.1	287.0	-1.8	90.6 (93.7)	139.0	274.2	-0.7	86.6 (88.5)	137.2
	65~69	325.6	7.5	149.2	270.3	5.5	83.0 (84.6)	130.9	250.9	-3.5	77.1 (85.8)	125.5
	年齢(歳)	42.2			42.7				44.4			
	勤続年数(年)	15.4			12.7				11.2			
女	年齢計	268.7	0.1	126.3	242.3	0.8	90.2 (89.6)	122.1	219.1	1.2	81.5 (80.6)	118.9
	20~24歳	212.7	1.3	100.0	198.5	0.9	93.3 (93.7)	100.0	184.3	1.8	86.6 (86.2)	100.0
	25~29	241.5	1.6	113.5	221.2	0.4	91.6 (92.6)	111.4	204.6	2.3	84.7 (84.1)	111.0
	30~34	265.4	2.8	124.8	239.0	0.7	90.1 (91.9)	120.4	217.4	1.7	81.9 (82.8)	118.0
	35~39	276.1	0.0	129.8	252.9	2.7	91.6 (89.2)	127.4	227.4	2.6	82.4 (80.3)	123.4
	40~44	288.8	-1.4	135.8	258.0	-1.6	89.3 (89.5)	130.0	233.8	1.7	81.0 (78.5)	126.9
	45~49	303.5	-1.2	142.7	263.0	0.8	86.7 (84.9)	132.5	232.2	-0.3	76.5 (75.8)	126.0
	50~54	305.0	0.6	143.4	267.9	-0.4	87.8 (88.7)	135.0	233.9	2.0	76.7 (75.6)	126.9
	55~59	292.4	0.5	137.5	259.0	2.5	88.6 (86.8)	130.5	232.4	1.2	79.5 (78.9)	126.1
	60~64	236.6	-9.3	111.2	219.1	3.1	92.6 (81.4)	110.4	202.9	-2.9	85.8 (80.0)	110.1
	65~69	239.3	-7.4	112.5	207.7	-7.8	86.8 (87.2)	104.6	203.4	-2.9	85.0 (81.0)	110.4
	年齢(歳)	39.5			40.7				42.0			
	勤続年数(年)	10.0			9.0				8.8			

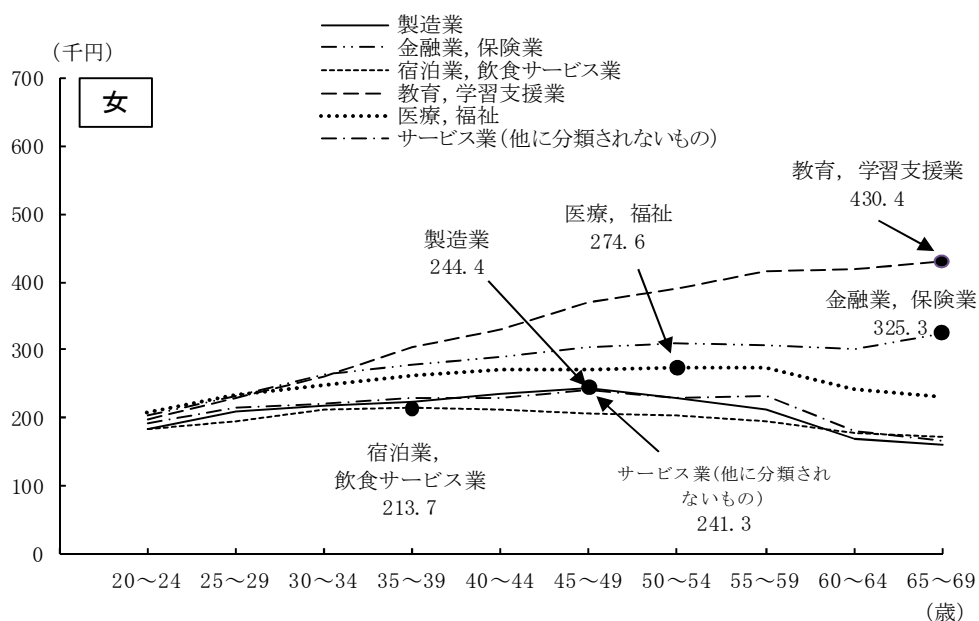
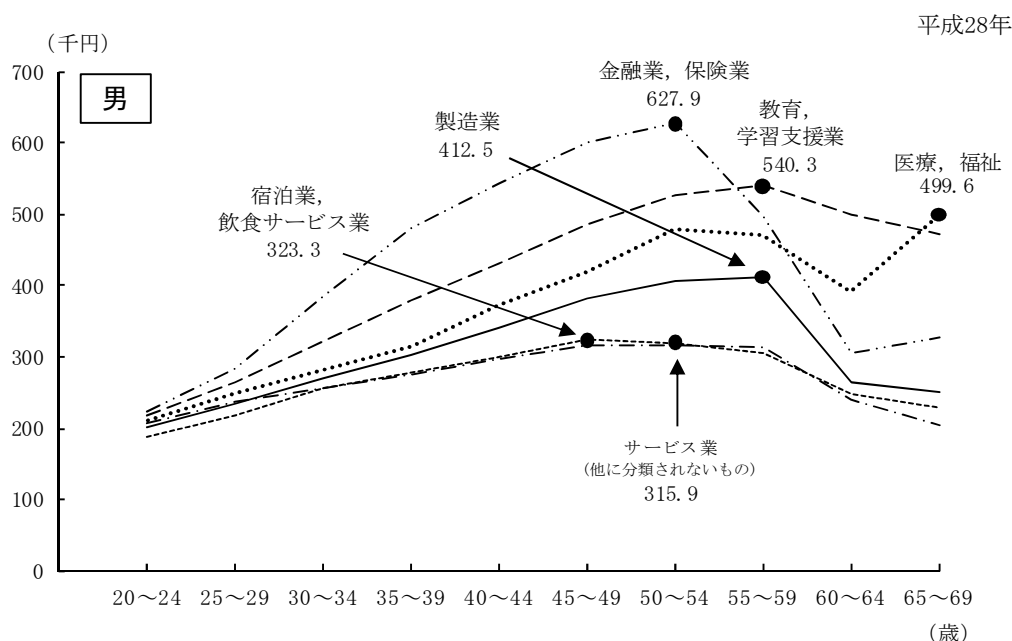
注：()内は、平成27年の数値である。

(5) 産業別にみた賃金

主な産業別に賃金をみると、男性では、金融業、保険業(466.4千円)が最も高く、次いで教育、学習支援業(435.0千円)となっており、宿泊業、飲食サービス業(271.1千円)が最も低くなっている。女性では、教育、学習支援業(304.2千円)が最も高く、次いで情報通信業(300.0千円)となっており、宿泊業、飲食サービス業(196.7千円)が最も低くなっている。

賃金カーブをみると、男性では、金融業、保険業は50～54歳で賃金がピークとなり、その後大きく下降している。また、宿泊業、飲食サービス業及びサービス業(他に分類されないもの)は他の産業に比べ賃金カーブが緩やかとなっている。女性では、教育、学習支援業及び金融業、保険業は、年齢階級が高くなるとともにおおむね賃金も上昇しているが、製造業、宿泊業、飲食サービス業、医療、福祉及びサービス業(他に分類されないもの)は他の産業に比べ賃金カーブが緩やかとなっている。(第5図、第5表)

第5図 主な産業、性、年齢階級別賃金



第5表 主な産業、性、年齢階級別賃金、対前年増減率及び年齢階級間賃金格差

平成28年

性、年齢階級		建設業	製造業	情報通信業	運輸業、郵便業	卸売業、小売業	金融業、保険業	学術研究、専門・技術サービス業	宿泊業、飲食サービス業	生活関連サービス業、娯楽業	教育、学習支援業	医療、福祉	サービス業（他に分類されないもの）
男	賃金（千円）												
	年齢計	348.2	318.5	392.2	284.5	344.8	466.4	397.8	271.1	288.4	435.0	343.4	271.7
	20～24歳	220.1	201.9	228.3	208.4	208.0	223.9	216.5	188.1	198.0	219.0	211.6	206.1
	25～29	257.7	235.1	267.5	239.7	242.7	283.6	262.9	218.7	230.6	263.6	249.4	237.3
	30～34	308.8	269.7	322.3	268.5	286.6	384.1	322.9	256.4	271.3	322.4	283.2	256.1
	35～39	344.7	302.6	380.8	287.0	327.4	482.0	372.1	277.9	308.9	379.6	314.4	276.7
	40～44	379.5	340.0	425.7	304.8	367.3	544.4	426.6	299.3	333.1	430.2	371.7	297.2
	45～49	417.4	380.8	476.2	312.1	414.2	599.9	483.8	323.3	351.9	485.7	418.5	315.7
	50～54	418.9	406.2	524.9	319.6	448.7	627.9	515.8	320.2	356.1	527.6	479.3	315.9
	55～59	415.9	412.5	523.5	310.3	432.1	496.2	515.0	305.6	331.8	540.3	470.7	313.4
	60～64	320.9	265.4	326.2	235.6	302.9	306.5	362.0	246.6	238.2	500.1	390.6	239.2
	65～69	278.7	249.6	296.2	215.0	266.2*	326.9	368.5	228.0	203.8	471.8	499.6	204.5
	賃金（年齢計）の対前年増減率（%）	1.9	0.2	-4.9	3.4	1.0	-3.3	0.3	0.4	-0.2	-1.6	-2.6	-1.6
	年齢（歳）	44.6	42.2	40.4	46.8	42.3	43.2	43.1	42.0	40.8	46.2	40.5	44.7
	勤続年数（年）	13.8	15.2	13.5	12.1	14.3	16.1	13.5	9.5	10.2	13.1	8.4	9.1
（20～24歳） 年齢階級間賃金格差	年齢計	158.2	157.8	171.8	136.5	165.8	208.3	183.7	144.1	145.7	198.6	162.3	131.8
	20～24歳	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	25～29	117.1	116.4	117.2	115.0	116.7	126.7	121.4	116.3	116.5	120.4	117.9	115.1
	30～34	140.3	133.6	141.2	128.8	137.8	171.5	149.1	136.3	137.0	147.2	133.8	124.3
	35～39	156.6	149.9	166.8	137.7	157.4	215.3	171.9	147.7	156.0	173.3	148.6	134.3
	40～44	172.4	168.4	186.5	146.3	176.6	243.1	197.0	159.1	168.2	196.4	175.7	144.2
	45～49	189.6	188.6	208.6	149.8	199.1	267.9	223.5	171.9	177.7	221.8	197.8	153.2
	50～54	190.3	201.2	229.9	153.4	215.7	280.4	238.2	170.2	179.8	240.9	226.5	153.3
	55～59	189.0	204.3	229.3	148.9	207.7	221.6	237.9	162.5	167.6	246.7	222.4	152.1
	60～64	145.8	131.5	142.9	113.1	145.6	136.9	167.2	131.1	120.3	228.4	184.6	116.1
65～69	126.6	123.6	129.7	103.2	128.0	146.0	170.2	121.2	102.9	215.4	236.1	99.2	
女	賃金（千円）												
	年齢計	242.6	215.5	300.0	226.0	232.5	274.0	289.4	196.7	213.8	304.2	254.4	220.9
	20～24歳	198.4	183.3	221.2	191.7	195.9	204.4	209.9	183.7	193.1	198.1	208.5	192.3
	25～29	224.9	209.8	256.3	215.3	216.5	232.6	245.9	196.1	210.8	228.9	233.4	214.2
	30～34	257.6	216.7	296.9	224.9	236.4	264.7	282.4	213.1	223.5	259.6	247.9	220.2
	35～39	235.5	223.5	314.8	226.4	243.4	277.1	295.7	213.7	230.7	304.3	262.4	229.8
	40～44	260.0	234.4	323.0	233.4	252.0	289.0	296.9	211.2	231.7	328.8	272.2	229.5
	45～49	259.0	244.4	355.0	242.7	252.5	304.6	320.1	206.6	232.7	369.7	271.3	241.3
	50～54	264.6	229.2	384.5	257.3	251.1	310.5	379.4	202.3	232.2	389.0	274.6	229.8
	55～59	255.6	211.4	377.6	228.6	238.0	306.9	317.8	194.0	211.9	415.4	274.4	232.0
	60～64	209.4	167.7	232.1	182.2	198.3	300.9	267.8	177.7	183.7	420.0	241.8	181.1
	65～69	206.6	159.4*	230.4	179.3	214.9	325.3	286.3	172.3	163.9	430.4	230.2	165.2
	賃金（年齢計）の対前年増減率（%）	1.9	2.4	-4.4	5.7	1.8	-1.5	4.1	0.3	-0.4	-1.1	0.7	3.6
	年齢（歳）	41.4	42.4	36.4	42.0	39.2	40.6	38.5	39.7	38.1	39.2	41.3	40.7
	勤続年数（年）	10.6	11.8	9.2	9.5	9.6	11.5	9.2	7.2	7.8	9.4	8.3	6.4
（20～24歳） 年齢階級間賃金格差	年齢計	122.3	117.6	135.6	117.9	118.7	134.1	137.9	107.1	110.7	153.6	122.0	114.9
	20～24歳	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	25～29	113.4	114.5	115.9	112.3	110.5	113.8	117.2	106.8	109.2	115.5	111.9	111.4
	30～34	129.8	118.2	134.2	117.3	120.7	129.5	134.5	116.0	115.7	131.0	118.9	114.5
	35～39	118.7	121.9	142.3	118.1	124.2	135.6	140.9	116.3	119.5	153.6	125.9	119.5
	40～44	131.0	127.9	146.0	121.8	128.6	141.4	141.4	115.0	120.0	166.0	130.6	119.3
	45～49	130.5	133.3	160.5	126.6	128.9	149.0	152.5	112.5	120.5	186.6	130.1	125.5
	50～54	133.4	125.0	173.8	134.2	128.2	151.9	180.8	110.1	120.2	196.4	131.7	119.5
	55～59	128.8	115.3	170.7	119.2	121.5	150.1	151.4	105.6	109.7	209.7	131.6	120.6
	60～64	105.5	91.5	104.9	95.0	101.2	147.2	127.6	96.7	95.1	212.0	116.0	94.2
65～69	104.1	87.0	104.2	93.5	109.7	159.1	136.4	93.8	84.9	217.3	110.4	85.9	

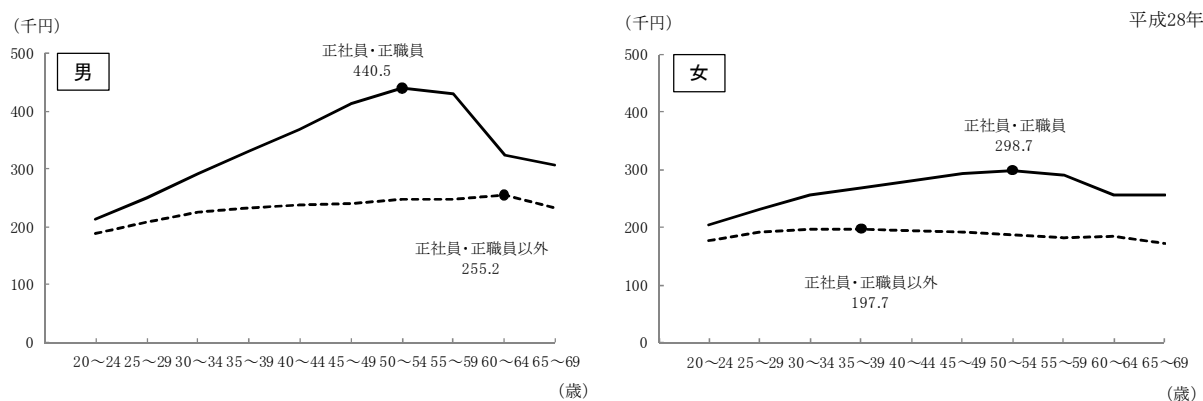
(6) 雇用形態別の賃金

雇用形態別の賃金をみると、男女計では、正社員・正職員321.7千円（年齢41.4歳、勤続12.7年）、正社員・正職員以外211.8千円（年齢46.5歳、勤続7.7年）となっている。男女別にみると、男性では、正社員・正職員349.0千円（前年比0.2%増）、正社員・正職員以外235.4千円（同2.7%増）、女性では、正社員・正職員262.0千円（同1.0%増）、正社員・正職員以外188.6千円（同4.2%増）となっている。

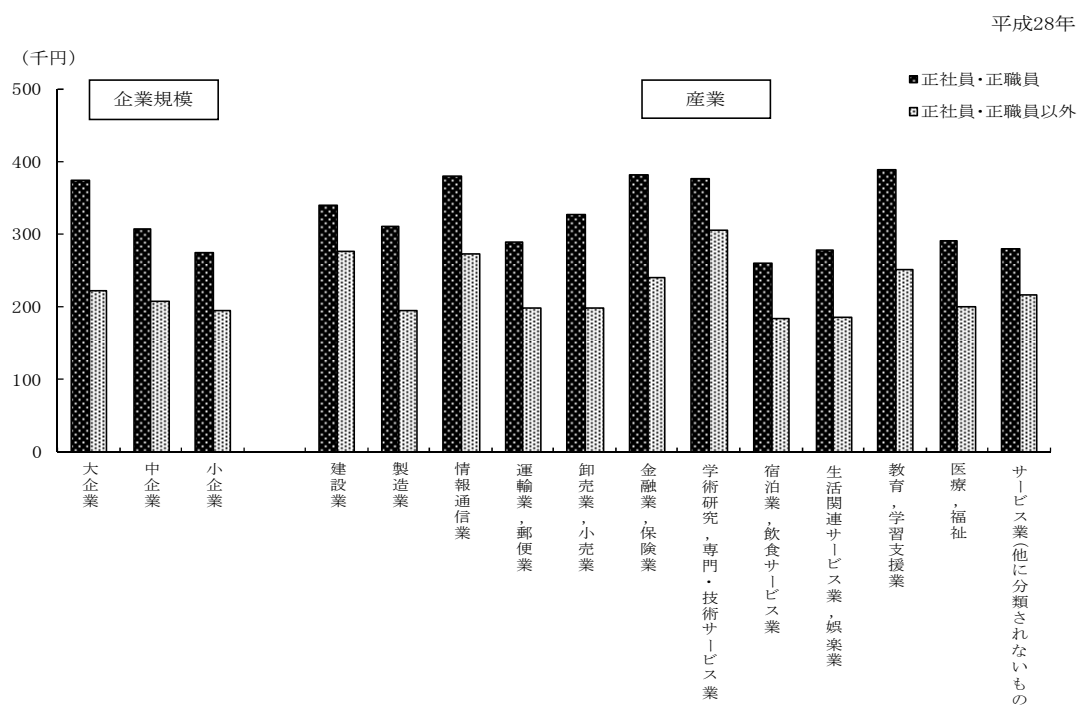
年齢階級別にみると、正社員・正職員以外は、男女いずれも年齢階級が高くなっても賃金の上昇があまり見られない。

雇用形態間賃金格差（正社員・正職員＝100）は、男女計で65.8（前年63.9）、男性で67.4（同65.8）、女性で72.0（同69.8）となっており、男女計及び女性で統計を取り始めた平成17年の調査以来過去最小となっている。なお、男女計でみると賃金格差が大きいのは、企業規模別では、大企業で59.4（同56.9）、主な産業別では、卸売業、小売業で60.4（同58.9）となっている。（第6図、第7図、第6表、第7表、第8表）

第6図 雇用形態、性、年齢階級別賃金



第7図 雇用形態、企業規模・主な産業別賃金（男女計）



第6表 雇用形態、性、年齢階級別賃金、対前年増減率及び雇用形態間賃金格差

平成28年

年齢階級	男女計				男				女									
	正社員・正職員		正社員・正職員以外		雇用形態間賃金格差 (正社員・正職員=100)		正社員・正職員		正社員・正職員以外		雇用形態間賃金格差 (正社員・正職員=100)		正社員・正職員		正社員・正職員以外		雇用形態間賃金格差 (正社員・正職員=100)	
	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)
年齢計	321.7	0.2	211.8	3.3	65.8 (63.9)	349.0	0.2	235.4	2.7	67.4 (65.8)	262.0	1.0	188.6	4.2	72.0 (69.8)			
20～24歳	208.0	1.5	182.2	5.1	87.6 (84.6)	211.9	1.8	188.6	5.4	89.0 (86.0)	203.6	1.2	177.0	4.9	86.9 (83.9)			
25～29	243.1	1.0	200.3	4.1	82.4 (80.0)	250.3	1.0	209.2	3.3	83.6 (81.8)	231.9	1.2	192.2	4.7	82.9 (80.1)			
30～34	281.1	1.5	210.0	4.7	74.7 (72.4)	293.2	1.5	225.8	5.4	77.0 (74.1)	255.5	2.2	196.6	4.4	76.9 (75.3)			
35～39	313.3	1.2	213.5	4.2	68.1 (66.1)	331.9	1.3	233.1	2.4	70.2 (69.5)	268.4	1.8	197.7	5.0	73.7 (71.4)			
40～44	344.6	-0.1	210.5	4.4	61.1 (58.5)	369.5	0.4	237.3	3.1	64.2 (62.5)	281.5	-0.8	194.0	5.4	68.9 (64.9)			
45～49	378.9	-0.8	207.8	1.9	54.8 (53.4)	412.3	-0.9	241.3	-0.9	58.5 (58.5)	294.1	0.8	190.5	4.8	64.8 (62.2)			
50～54	400.9	-0.5	209.6	3.7	52.3 (50.2)	440.5	-0.7	247.0	3.4	56.1 (53.9)	298.7	1.5	187.2	3.5	62.7 (61.4)			
55～59	393.3	0.3	211.1	2.0	53.7 (52.8)	431.2	0.6	246.7	0.5	57.2 (57.3)	289.9	1.7	181.7	2.8	62.7 (62.0)			
60～64	306.1	-2.0	234.3	3.3	76.5 (72.6)	323.1	-2.4	255.2	3.8	79.0 (74.3)	255.6	-2.3	183.0	3.7	71.6 (67.5)			
65～69	294.6	2.4	216.1	1.6	73.4 (74.0)	307.5	4.3	232.6	2.6	75.6 (76.9)	255.6	-4.1	172.4	-1.5	67.4 (65.7)			
年齢(歳)	41.4		46.5			42.2		48.7			39.5		44.3					
勤続年数(年)	12.7		7.7			13.9		8.8			10.1		6.7					

注：()内は、平成27年の数値である。

第7表 雇用形態、性、企業規模別賃金、対前年増減率及び雇用形態間賃金格差

平成28年

企業規模	男女計				男				女									
	正社員・正職員		正社員・正職員以外		雇用形態間賃金格差 (正社員・正職員=100)		正社員・正職員		正社員・正職員以外		雇用形態間賃金格差 (正社員・正職員=100)		正社員・正職員		正社員・正職員以外		雇用形態間賃金格差 (正社員・正職員=100)	
	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)
大企業	375.5	-0.7	223.2	3.7	59.4 (56.9)	406.0	-0.6	248.5	4.1	61.2 (58.4)	297.7	0.6	199.0	4.7	66.8 (64.2)			
中企業	308.9	0.2	208.7	4.1	67.6 (65.0)	334.5	0.2	230.6	3.5	68.9 (66.7)	259.2	0.6	186.0	4.0	71.8 (69.4)			
小企業	275.9	0.9	195.0	-0.5	70.7 (71.7)	297.6	1.1	218.8	-2.1	73.5 (75.9)	229.1	1.2	173.0	1.2	75.5 (75.5)			

注：()内は、平成27年の数値である。

第8表 雇用形態、性、主な産業別賃金、対前年増減率及び雇用形態間賃金格差

平成28年

産業	男女計				男				女									
	正社員・正職員		正社員・正職員以外		雇用形態間賃金格差 (正社員・正職員=100)		正社員・正職員		正社員・正職員以外		雇用形態間賃金格差 (正社員・正職員=100)		正社員・正職員		正社員・正職員以外		雇用形態間賃金格差 (正社員・正職員=100)	
	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)
建設業	341.4	2.4	276.9	4.1	81.1 (79.8)	354.8	2.4	291.1	2.9	82.0 (81.7)	249.3	2.2	194.8	2.9	78.1 (77.7)			
製造業	311.3	0.8	196.3	-0.2	63.1 (63.7)	329.3	0.3	220.8	-0.3	67.1 (67.4)	234.6	3.5	166.8	1.3	71.1 (72.6)			
情報通信業	381.1	-4.9	274.3	1.1	72.0 (67.6)	397.9	-4.9	307.3	-1.8	77.2 (74.8)	314.5	-5.3	235.5	5.7	74.9 (67.1)			
運輸業, 郵便業	289.7	4.4	199.7	1.0	68.9 (71.2)	294.3	4.0	210.8	1.4	71.6 (73.5)	250.1	8.3	171.2	-0.9	68.5 (74.8)			
卸売業, 小売業	328.9	0.8	198.8	3.4	60.4 (58.9)	357.1	1.0	227.9	3.9	63.8 (62.0)	254.8	1.4	179.7	2.5	70.5 (69.8)			
金融業, 保険業	382.2	-2.5	241.2	0.0	63.1 (61.5)	477.8	-3.1	303.1	-3.4	63.4 (63.6)	282.6	-1.6	205.2	3.6	72.6 (68.9)			
学術研究, 専門・技術サービス業	377.2	-0.7	306.8	9.5	81.3 (73.8)	402.4	-0.1	352.7	6.7	87.6 (82.1)	300.4	1.8	231.1	5.0	76.9 (74.6)			
宿泊業, 飲食サービス業	261.3	-0.1	185.0	0.5	70.8 (70.4)	285.7	0.2	203.8	0.3	71.3 (71.2)	212.0	-0.4	171.6	0.8	80.9 (79.9)			
生活関連サービス業, 娯楽業	279.6	0.1	186.7	-1.9	66.8 (68.1)	309.5	-0.1	196.1	-1.9	63.4 (64.5)	232.1	0.3	180.5	-1.8	77.8 (79.4)			
教育, 学習支援業	390.9	-1.1	252.7	-1.0	64.6 (64.6)	448.5	-1.9	293.5	-0.1	65.4 (64.3)	317.4	-0.7	221.8	0.1	69.9 (69.4)			
医療, 福祉	292.0	-0.4	201.4	3.8	69.0 (66.2)	357.6	-2.7	232.0	5.3	64.9 (60.0)	265.1	0.8	192.1	3.0	72.5 (70.9)			
サービス業 (他に分類されないもの)	280.9	-1.4	216.7	7.9	77.1 (70.5)	295.4	-1.8	223.0	5.3	75.5 (70.4)	235.8	-0.1	208.9	12.6	88.6 (78.6)			

注：()内は、平成27年の数値である。

(7) 賃金の分布

男女別に賃金の分布をみると、男性では、55～59歳までは年齢階級が高くなるとともに労働者が最も多く分布する賃金階級も高くなる傾向にある。一方、女性では、労働者が最も多く分布する賃金階級の年齢による違いは男性ほど大きくない。

賃金分布の広がりを分散係数でみると、男女いずれも年齢階級が高くなるとともにおおむね大きくなっている。また、学歴別に分位数で広がりをみると、男女とも30歳以上の各年齢階級で大学・大学院卒が他の学歴に比べ大きくなっており、年齢階級が高くなるほどその傾向は顕著となっている。（第9表、第8図）

第9表 賃金階級、性、年齢階級別労働者数割合（2-1）

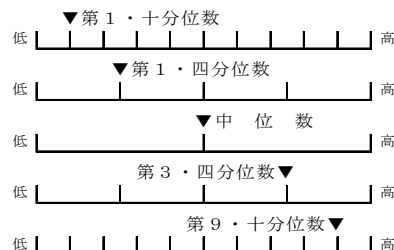
平成28年

賃金階級	男										
	年齢計	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳
	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
～ 99.9 (千円)	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
100.0 ～ 119.9	0.2	0.3	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.5	1.3
120.0 ～ 139.9	1.0	2.2	1.2	0.7	0.4	0.4	0.4	0.5	0.7	2.3	5.5
140.0 ～ 159.9	2.5	5.5	2.7	1.8	1.3	1.1	1.1	1.3	2.0	5.7	11.0
160.0 ～ 179.9	4.4	13.7	4.9	3.2	2.5	2.0	1.8	2.2	2.8	9.5	11.7
180.0 ～ 199.9	5.9	20.9	9.5	5.5	3.8	2.8	2.6	2.7	3.4	10.1	11.6
200.0 ～ 219.9	7.7	23.9	15.3	8.1	5.8	4.1	3.5	3.3	4.1	11.5	10.4
220.0 ～ 239.9	8.0	16.2	18.2	10.8	7.4	5.1	4.3	3.8	4.4	8.5	8.1
240.0 ～ 259.9	8.0	8.4	15.8	12.4	8.8	6.3	4.9	4.1	4.7	8.3	6.9
260.0 ～ 279.9	7.4	4.0	11.2	12.5	9.7	7.0	5.5	4.5	4.7	6.7	5.0
280.0 ～ 299.9	6.6	2.1	7.4	10.5	8.9	7.7	5.7	4.6	4.7	4.7	4.0
300.0 ～ 319.9	6.2	1.2	4.7	8.9	9.3	7.8	5.8	4.9	5.1	5.2	4.8
320.0 ～ 339.9	5.2	0.5	3.0	6.3	7.8	7.3	5.8	4.9	4.7	3.4	2.6
340.0 ～ 359.9	4.7	0.3	1.7	4.4	6.5	7.0	5.8	5.0	4.8	3.3	2.5
360.0 ～ 399.9	7.7	0.4	2.0	6.6	9.5	11.9	10.9	9.6	8.9	4.1	2.9
400.0 ～ 449.9	7.2	0.2	1.2	3.8	7.5	10.1	11.6	11.5	10.6	4.2	3.1
450.0 ～ 499.9	5.0	0.0	0.4	1.8	4.2	6.8	8.5	9.3	8.8	2.7	1.5
500.0 ～ 599.9	6.0	0.1	0.3	1.3	3.8	6.9	10.7	12.8	11.6	4.2	2.1
600.0 ～ 699.9	3.1	0.0	0.2	0.6	1.6	2.9	5.6	7.3	6.7	2.2	1.3
700.0 ～ 799.9	1.5	0.0	0.0	0.2	0.5	1.1	2.8	3.8	3.7	1.2	1.0
800.0 ～ 899.9	0.7	0.0	0.0	0.1	0.3	0.5	1.1	1.6	1.4	0.5	0.9
900.0 ～ 999.9	0.4	-	0.0	0.1	0.1	0.2	0.5	0.9	0.9	0.3	0.3
1000.0 ～ 1199.9	0.3	-	0.0	0.1	0.2	0.2	0.5	0.7	0.7	0.4	0.5
1200.0 ～	0.3	0.0	0.0	0.1	0.1	0.3	0.5	0.7	0.6	0.5	1.0
平均値 (千円)	335.2	209.1	245.8	286.9	323.8	360.7	401.3	425.7	411.8	291.3	270.7
第1・十分位数 ¹⁾ (千円)	186.7	163.6	182.6	195.3	207.0	217.4	222.1	219.6	204.8	163.2	146.8
第1・四分位数 ¹⁾ (千円)	228.5	183.1	209.3	230.7	248.9	269.2	282.7	290.3	272.4	193.3	172.5
中位数 ¹⁾ (千円)	294.7	205.8	237.9	271.6	302.7	334.8	369.9	393.7	377.1	244.9	216.4
第3・四分位数 ¹⁾ (千円)	397.3	229.3	272.4	321.5	370.1	418.1	478.5	516.8	503.7	331.1	296.4
第9・十分位数 ¹⁾ (千円)	529.5	256.7	314.5	387.2	457.3	522.5	613.4	661.7	653.7	479.4	414.3
十分位分散係数 ²⁾	0.58	0.23	0.28	0.35	0.41	0.46	0.53	0.56	0.60	0.65	0.62
	(0.60)	(0.22)	(0.28)	(0.36)	(0.42)	(0.46)	(0.54)	(0.59)	(0.59)	(0.66)	(0.65)
四分位分散係数 ²⁾	0.29	0.11	0.13	0.17	0.20	0.22	0.26	0.29	0.31	0.28	0.29
	(0.30)	(0.11)	(0.14)	(0.18)	(0.21)	(0.23)	(0.28)	(0.30)	(0.31)	(0.29)	(0.29)

注：（ ）内は、平成27年の数値である。

1) 分位数とは、分布の形を示す値である。具体的には、該当労働者を賃金の低い者から高い者へと一列に並べたとき、以下の説明内容に該当する者の賃金である。図示すれば下図のとおりである。

- 第1・十分位数 …… 低い方から数えて全体の10分の1番目に該当する者の賃金
- 第1・四分位数 …… 低い方から数えて全体の4分の1番目に該当する者の賃金
- 中位数 …… 低い方（あるいは高い方）から数えて全体の2分の1番目に該当する者の賃金
- 第3・四分位数 …… 高い方から数えて全体の4分の1番目に該当する者の賃金
- 第9・十分位数 …… 高い方から数えて全体の10分の1番目に該当する者の賃金



2) 分散係数とは、分布の広がりを示す指標の一つであり、次の算式により計算された数値をいう。

一般に、その値が小さいほど分布の広がりの程度が小さいことを示す。

○ 十分位分散係数 =
$$\frac{\text{第9・十分位数} - \text{第1・十分位数}}{2 \times \text{中位数}}$$

○ 四分位分散係数 =
$$\frac{\text{第3・四分位数} - \text{第1・四分位数}}{2 \times \text{中位数}}$$

第9表 賃金階級、性、年齢階級別労働者数割合（2-2）

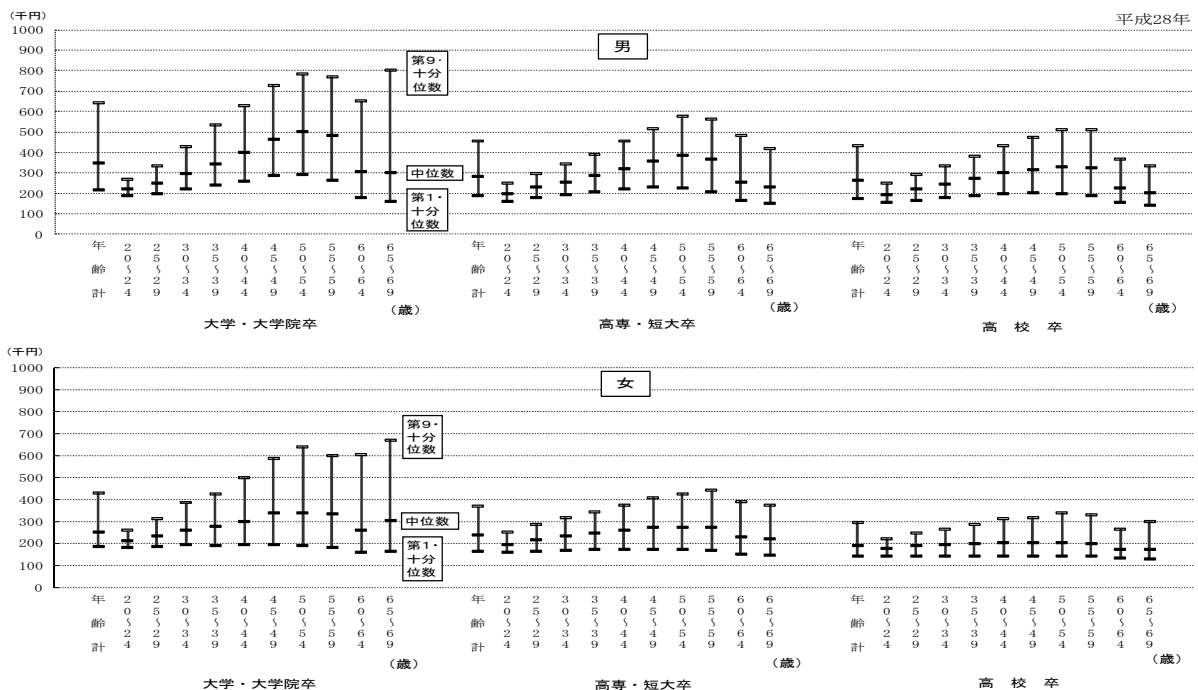
平成28年

賃金階級	女										
	年齢計	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳
計	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
～ 99.9 (千円)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
100.0 ～ 119.9	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
120.0 ～ 139.9	1.0	0.5	0.5	0.7	0.7	0.9	0.9	1.0	1.3	2.8	4.3
140.0 ～ 159.9	4.1	3.6	2.7	3.0	2.9	3.5	4.0	4.2	5.4	10.6	14.5
160.0 ～ 179.9	8.3	9.8	5.8	5.9	6.5	7.1	8.2	8.2	9.7	17.7	18.9
180.0 ～ 199.9	11.3	18.3	10.2	8.8	8.8	9.3	10.0	10.6	11.4	15.1	14.4
200.0 ～ 219.9	12.0	21.3	14.3	10.8	9.9	9.6	9.6	10.0	10.4	11.9	11.6
220.0 ～ 239.9	12.0	20.4	17.4	12.4	11.1	9.4	8.9	8.7	9.4	9.7	7.0
240.0 ～ 259.9	10.7	13.0	16.2	13.2	10.8	9.3	8.4	8.5	7.9	6.7	5.8
260.0 ～ 279.9	8.8	6.4	11.8	12.4	10.4	8.9	7.6	7.4	6.4	5.8	5.0
280.0 ～ 299.9	6.9	3.0	8.0	9.3	8.9	8.0	6.8	6.2	5.6	3.9	3.0
300.0 ～ 319.9	5.1	1.6	4.7	6.6	7.1	6.7	5.5	5.2	4.8	2.5	2.3
320.0 ～ 359.9	4.3	1.0	3.2	4.8	5.8	6.0	5.5	4.5	4.4	2.2	2.8
360.0 ～ 399.9	5.7	0.8	3.0	5.3	7.6	8.5	8.0	7.2	6.9	2.8	2.5
400.0 ～ 449.9	3.5	0.1	1.1	3.3	3.8	5.3	5.3	5.6	5.0	2.2	2.1
450.0 ～ 499.9	2.5	0.0	0.7	1.7	2.8	3.1	4.4	4.7	4.2	1.6	1.4
500.0 ～ 599.9	1.4	0.0	0.3	0.7	1.3	1.7	2.7	2.8	2.5	1.2	1.1
600.0 ～ 699.9	1.3	0.0	0.2	0.6	0.9	1.4	2.2	2.6	2.7	1.7	1.5
700.0 ～ 799.9	0.5	0.0	0.1	0.3	0.3	0.5	1.0	1.0	1.0	0.8	0.8
800.0 ～ 899.9	0.2	-	0.0	0.1	0.2	0.2	0.3	0.6	0.4	0.4	0.4
900.0 ～ 999.9	0.1	-	0.0	0.1	0.1	0.1	0.2	0.2	0.2	0.1	0.3
1000.0 ～	0.1	-	-	0.0	0.0	0.1	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1
1000.0 ～	0.2	-	0.0	0.1	0.1	0.3	0.3	0.3	0.2	0.2	0.2
平均値 (千円)	244.6	199.5	225.1	243.4	253.6	261.4	268.0	269.5	259.6	218.2	212.1
第1・十分位数 ¹⁾ (千円)	152.6	153.5	162.2	161.0	159.6	156.2	153.5	152.3	147.1	134.9	129.0
第1・四分位数 ¹⁾ (千円)	180.3	173.0	188.6	192.4	192.1	188.5	184.0	181.6	174.8	153.5	146.4
中位数 ¹⁾ (千円)	222.2	196.5	218.9	232.9	238.6	241.9	240.0	236.7	225.2	185.4	177.0
第3・四分位数 ¹⁾ (千円)	279.6	221.4	252.8	276.6	293.3	307.3	318.3	321.0	311.8	241.8	233.5
第9・十分位数 ¹⁾ (千円)	358.4	247.9	293.0	333.2	356.6	378.9	412.4	422.3	413.9	335.4	324.6
十分位分散係数 ²⁾	0.46	0.24	0.30	0.37	0.41	0.46	0.54	0.57	0.59	0.54	0.55
	(0.48)	(0.25)	(0.30)	(0.36)	(0.43)	(0.48)	(0.56)	(0.59)	(0.62)	(0.61)	(0.67)
四分位分散係数 ²⁾	0.22	0.12	0.15	0.18	0.21	0.25	0.28	0.29	0.30	0.24	0.25
	(0.23)	(0.13)	(0.15)	(0.19)	(0.22)	(0.25)	(0.29)	(0.30)	(0.31)	(0.25)	(0.26)

注：（ ）内は、平成27年の数値である。

「分位数」、「中位数」及び「分散係数」については前頁第9表の注：1)、2)を参照。

第8図 性、学歴、年齢階級別第1・十分位数、中位数及び第9・十分位数

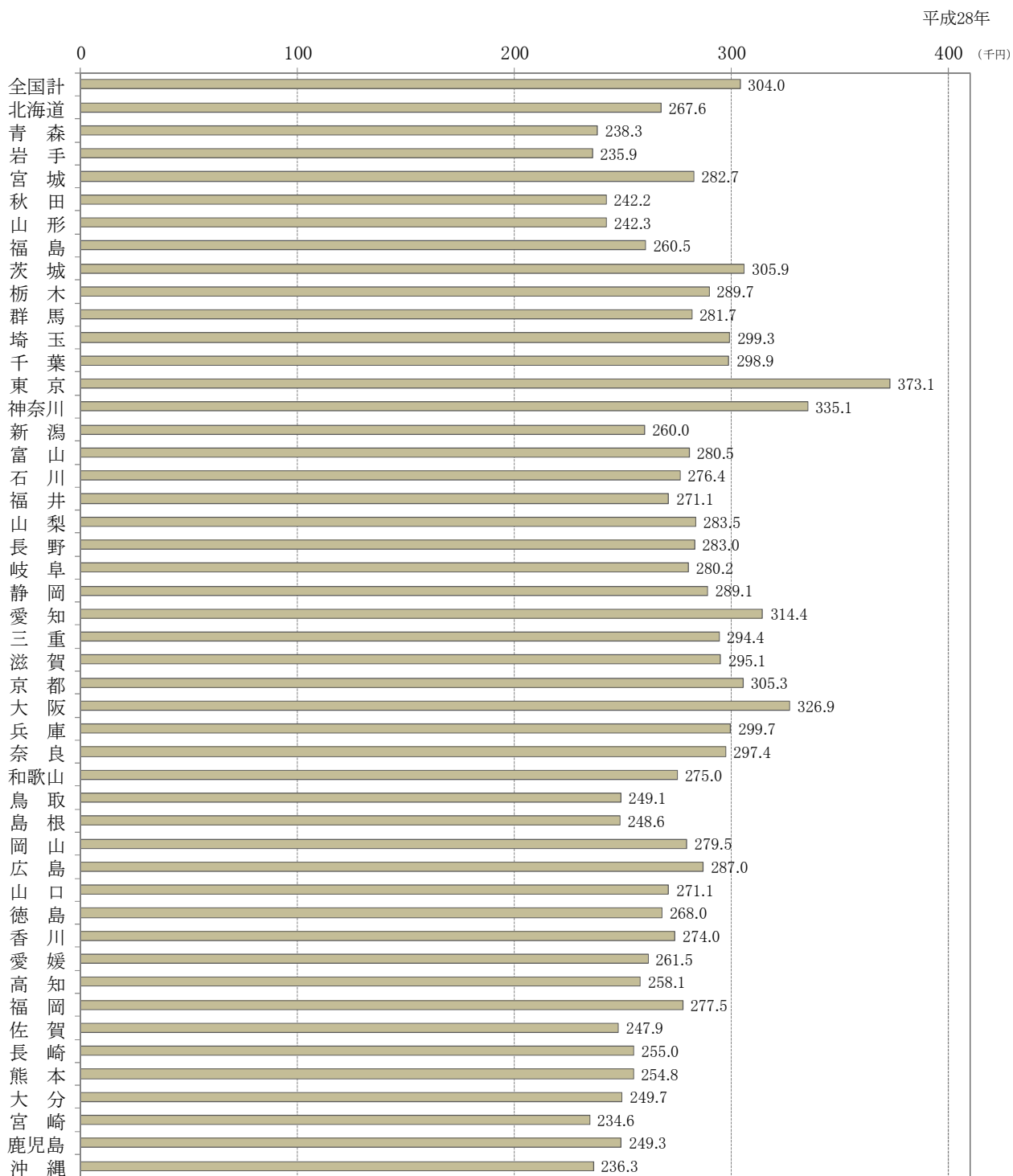


注：「分位数」及び「中位数」については前頁第9表の注：1)を参照。

(8) 都道府県別の賃金

都道府県別の賃金の水準をみると、全国計（304.0千円）よりも賃金が高かったのは6都府県（茨城県、東京都、神奈川県、愛知県、京都府、大阪府）となり、最も高かったのは、東京都（373.1千円）となっている（第9図）。

第9図 都道府県別賃金（男女計）



(9) 製造業における労働者の種類別にみた賃金

製造業について、賃金がピークとなる年齢階級を労働者の種類別にみると、男性では、生産労働者が50～54歳で327.4千円、管理・事務・技術労働者が55～59歳で506.6千円、女性では、生産労働者が40～44歳で194.1千円、管理・事務・技術労働者が45～49歳で302.8千円となっている（第10表）。

第10表 製造業の労働者の種類、性、年齢階級別賃金、対前年増減率及び年齢階級間賃金格差

平成28年												
年齢階級	男						女					
	生産労働者			管理・事務・技術労働者			生産労働者			管理・事務・技術労働者		
	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	年齢階級間 賃金格差 (20～24歳 =100)	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	年齢階級間 賃金格差 (20～24歳 =100)	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	年齢階級間 賃金格差 (20～24歳 =100)	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	年齢階級間 賃金格差 (20～24歳 =100)
年齢計	270.5	1.2	136.1	390.3	-0.5	182.2	182.5	1.1	103.9	260.7	3.5	132.0
20～24歳	198.8	1.5	100.0	214.2	1.9	100.0	175.7	2.0	100.0	197.5	0.8	100.0
25～29	226.0	1.7	113.7	253.0	0.5	118.1	186.4	4.8	106.1	232.8	4.9	117.9
30～34	248.6	0.6	125.1	303.8	0.4	141.8	186.7	0.6	106.3	247.4	4.0	125.3
35～39	273.8	1.3	137.7	351.0	1.2	163.9	191.1	3.5	108.8	255.1	0.6	129.2
40～44	298.8	0.9	150.3	398.5	0.1	186.0	194.1	-0.6	110.5	274.4	4.3	138.9
45～49	312.8	0.3	157.3	454.1	-1.3	212.0	190.9	0.5	108.7	302.8	6.5	153.3
50～54	327.4	2.1	164.7	485.9	-2.4	226.8	188.2	0.0	107.1	289.9	2.7	146.8
55～59	323.4	-0.9	162.7	506.6	2.0	236.5	181.7	1.8	103.4	281.6	2.3	142.6
60～64	232.0	0.2	116.7	316.9	-3.7	147.9	156.3	0.6	89.0	206.8	-4.6	104.7
65～69	223.9	1.3	112.6	302.2	-9.5	141.1	149.9	-1.4	85.3	206.2	-7.2	104.4
年齢(歳)	40.9			44.1			43.5			41.0		
勤続年数(年)	13.6			17.5			10.8			13.1		

(10) 役職別にみた賃金

企業全体の常用労働者が100人以上の企業に属する労働者について、役職別の賃金をみると、男性では、部長級666.7千円（前年比0.6%増）、課長級532.4千円（同0.5%増）、係長級396.7千円（同1.0%減）、女性では、部長級592.5千円（同8.5%減）、課長級452.5千円（同1.8%減）、係長級353.3千円（同0.1%減）となっている（第11表）。

第11表 役職、性別賃金、対前年増減率及び役職・非役職間賃金格差
(企業規模100人以上)

平成28年								
役職	男				女			
	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	役職・非役職間賃金 格差(非役職者20～ 24歳=100)	年齢 (歳)	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	役職・非役職間賃金 格差(非役職者20～ 24歳=100)	年齢 (歳)
部長級	666.7	0.6	311.5 (314.0)	52.3	592.5	-8.5	283.5 (311.6)	52.7
課長級	532.4	0.5	248.8 (251.0)	47.7	452.5	-1.8	216.5 (221.7)	48.8
係長級	396.7	-1.0	185.4 (189.9)	43.9	353.3	-0.1	169.0 (170.2)	44.1
非役職者 (20～24歳)	214.0	1.4	100.0 (100.0)		209.0	0.6	100.0 (100.0)	

注：()内は、平成27年の数値である。

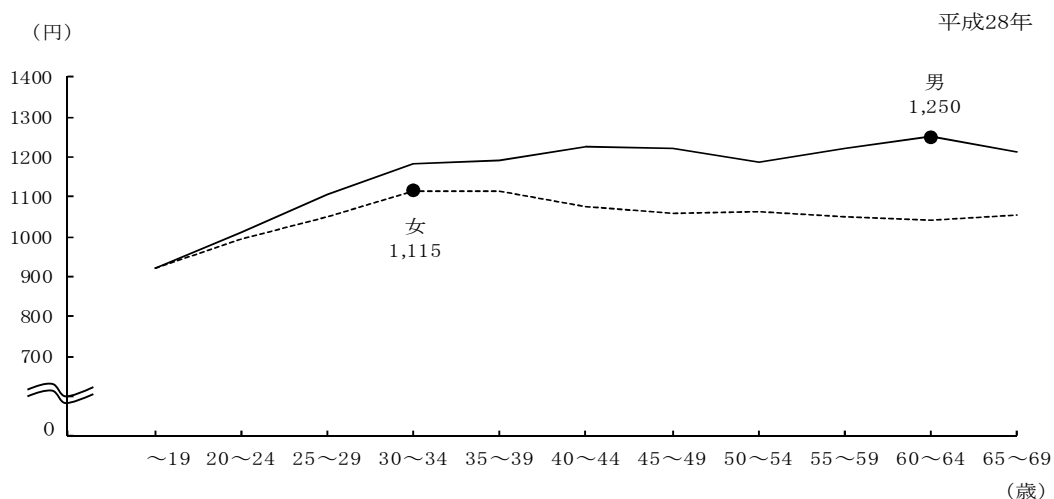
2 短時間労働者の賃金

(1) 性、年齢階級別にみた賃金

短時間労働者の1時間あたり賃金は、男女計1,075円（前年比1.5%増）、男性1,134円（同0.1%増）、女性1,054円（同2.1%増）となっており、いずれも過去最高となっている。

男女別に、年齢階級別で見ると、男性は20～24歳以降、女性は25～29歳以降で1,000円を超えており、最も賃金が高い年齢階級は、男性では、60～64歳で1,250円、女性では、30～34歳で1,115円となっている。（第10図、第12表）

第10図 短時間労働者の性、年齢階級別1時間あたり賃金



第12表 短時間労働者の性、年齢階級別1時間あたり賃金、対前年増減率及び年齢階級間賃金格差

年齢階級	男女計			男			女		
	1時間あたり賃金 (円)	対前年増減率 (%)	年齢階級間賃金格差 (20~24歳=100)	1時間あたり賃金 (円)	対前年増減率 (%)	年齢階級間賃金格差 (20~24歳=100)	1時間あたり賃金 (円)	対前年増減率 (%)	年齢階級間賃金格差 (20~24歳=100)
年齢計	1,075	1.5	107.2	1,134	0.1	112.2	1,054	2.1	106.0
~19歳	920	2.1	91.7	923	1.0	91.3	919	3.0	92.5
20~24	1,003	0.6	100.0	1,011	0.2	100.0	994	0.8	100.0
25~29	1,069	-0.4	106.6	1,105	-0.4	109.3	1,049	-0.3	105.5
30~34	1,130	1.3	112.7	1,182	-1.8	116.9	1,115	2.3	112.2
35~39	1,126	2.3	112.3	1,192	-1.1	117.9	1,113	2.9	112.0
40~44	1,092	2.1	108.9	1,224	-0.7	121.1	1,074	2.5	108.0
45~49	1,074	0.8	107.1	1,220	-0.6	120.7	1,057	1.1	106.3
50~54	1,075	1.8	107.2	1,187	-0.3	117.4	1,061	2.0	106.7
55~59	1,074	1.7	107.1	1,221	0.6	120.8	1,052	1.9	105.8
60~64	1,100	0.8	109.7	1,250	-0.2	123.6	1,041	1.9	104.7
65~69	1,123	2.8	112.0	1,212	1.2	119.9	1,053	4.3	105.9
年齢 (歳)	45.5			43.9			46.0		
実労働日数 (日)	16.3			15.4			16.6		
1日あたり所定内実労働時間数 (時間)	5.3			5.5			5.3		
勤続年数 (年)	5.7			5.1			5.9		

(2) 企業規模別にみた賃金

企業規模別に1時間当たり賃金をみると、男性では、大企業が1,096円（前年比0.7%増）、中企業が1,167円（同1.2%増）、小企業が1,150円（同1.9%減）、女性では、大企業が1,055円（同2.9%増）、中企業が1,071円（同2.5%増）、小企業が1,037円（同0.5%増）となっている（第13表）。

第13表 短時間労働者の企業規模、性別1時間当たり賃金、対前年増減率及び企業規模間賃金格差

平成28年						
企業規模	男			女		
	1時間 当たり賃金 (円)	対前年 増減率 (%)	企業規模間 賃金格差 (大企業= 100)	1時間 当たり賃金 (円)	対前年 増減率 (%)	企業規模間 賃金格差 (大企業= 100)
大 企 業	1,096	0.7	100.0	1,055	2.9	100.0
中 企 業	1,167	1.2	106.5	1,071	2.5	101.5
小 企 業	1,150	-1.9	104.9	1,037	0.5	98.3

(3) 産業別にみた賃金

主な産業別に1時間当たり賃金をみると、男性では、製造業、運輸業、郵便業、卸売業、小売業、サービス業（他に分類されないもの）が1,000円を超え、女性では医療、福祉、サービス業（他に分類されないもの）が1,000円を超えている（第14表）。

第14表 短時間労働者の主な産業、性別1時間当たり賃金、対前年増減率及び産業間賃金格差

平成28年				
性、産業		1時間当たり賃金(円)	対前年増減率 (%)	産業間賃金格差 (産業計=100)
男	産業計 ¹⁾	1,134	0.1	100.0
	製造業	1,153	1.1	101.7
	運輸業, 郵便業	1,157	-0.9	102.0
	卸売業, 小売業	1,021	1.3	90.0
	宿泊業, 飲食サービス業	968	0.8	85.4
	サービス業(他に分類されないもの)	1,154	2.4	101.8
女	産業計 ¹⁾	1,054	2.1	100.0
	製造業	945	3.3	89.7
	卸売業, 小売業	965	1.2	91.6
	宿泊業, 飲食サービス業	943	1.4	89.5
	医療, 福祉	1,258	0.1	119.4
	サービス業(他に分類されないもの)	1,033	3.1	98.0

注: 1) 産業計には、上掲のほか、男女とも、鉱業、採石業、砂利採取業、建設業、電気・ガス・熱供給・水道業、情報通信業、金融業、保険業、不動産業、物品賃貸業、学術研究、専門・技術サービス業、生活関連サービス業、娯楽業、教育、学習支援業、複合サービス事業を含み、更に、男性では医療、福祉、女性では運輸業、郵便業を含む。

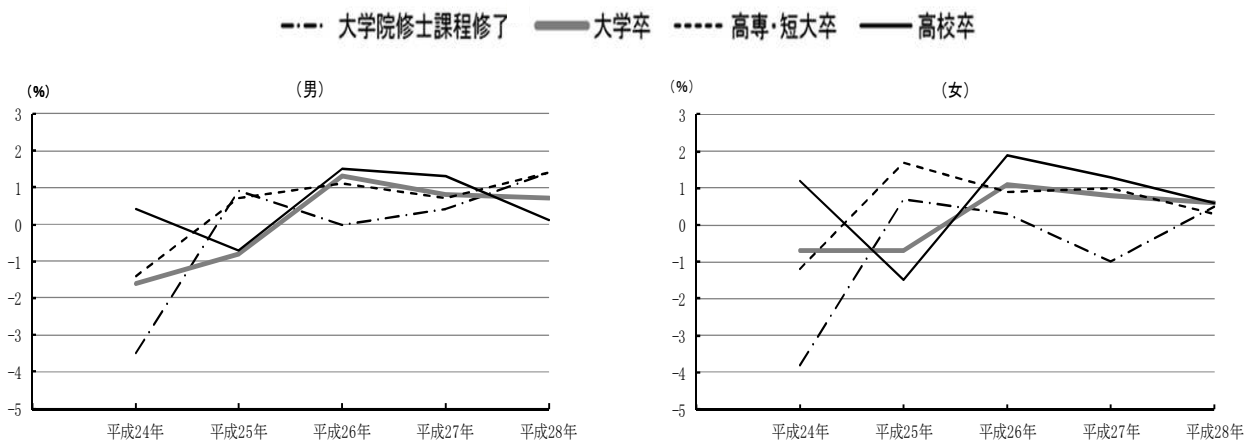
3 新規学卒者の初任給

(1) 学歴別にみた初任給

平成28年の初任給を高校卒以上の学歴別にみると、男女計、男女別ともに、全ての学歴で前年を上回っている（第11図、第15表、第12図）。

男女計	大学院修士課程修了	231.4千円	(対前年増減率 1.3%)
	大学卒	203.4千円	(" 0.7%)
	高専・短大卒	176.9千円	(" 0.7%)
	高校卒	161.3千円	(" 0.2%)
男性	大学院修士課程修了	231.7千円	(対前年増減率 1.4%)
	大学卒	205.9千円	(" 0.7%)
	高専・短大卒	179.7千円	(" 1.4%)
	高校卒	163.5千円	(" 0.1%)
女性	大学院修士課程修了	229.7千円	(対前年増減率 0.5%)
	大学卒	200.0千円	(" 0.6%)
	高専・短大卒	175.2千円	(" 0.3%)
	高校卒	157.2千円	(" 0.6%)

第11図 性、学歴別初任給の対前年増減率の推移

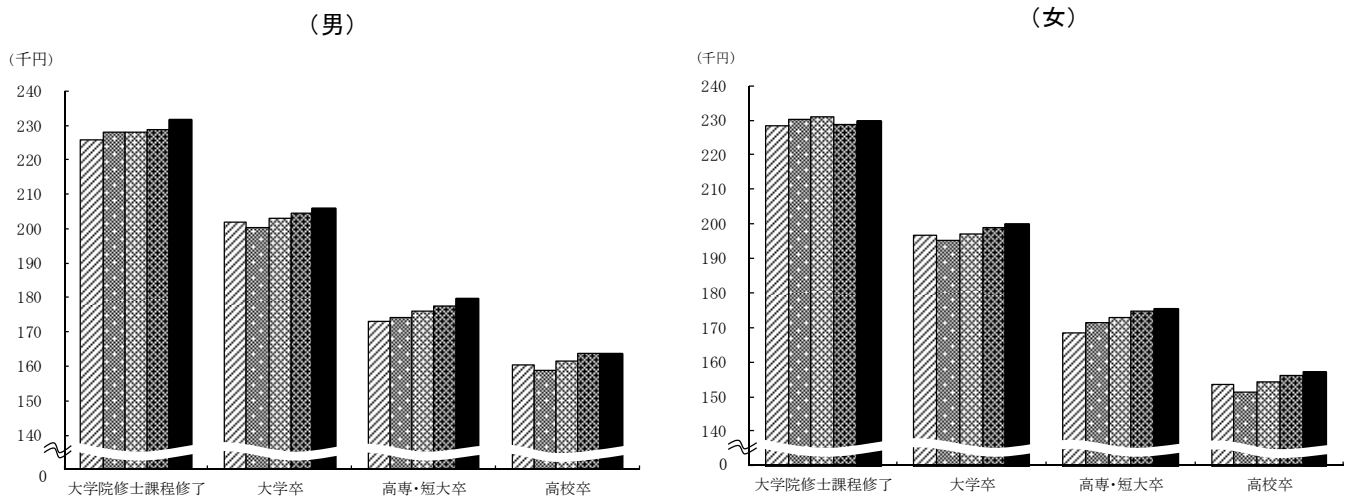


第15表 性、学歴別初任給の推移

性、学歴		平成24年		平成25年		平成26年		平成27年		平成28年	
		初任給 (千円)	対前年 増減率 (%)	初任給 (千円)	対前年 増減率 (%)	初任給 (千円)	対前年 増減率 (%)	初任給 (千円)	対前年 増減率 (%)	初任給 (千円)	対前年 増減率 (%)
男女計	大学院修士課程修了	226.1	-3.6	228.1	0.9	228.3	0.1	228.5	0.1	231.4	1.3
	大学卒	199.6	-1.2	198.0	-0.8	200.4	1.2	202.0	0.8	203.4	0.7
	高専・短大卒	170.1	-1.4	172.2	1.2	174.1	1.1	175.6	0.9	176.9	0.7
	高校卒	157.9	0.9	156.0	-1.2	158.8	1.8	160.9	1.3	161.3	0.2
男	大学院修士課程修了	225.6	-3.5	227.7	0.9	227.7	0.0	228.5	0.4	231.7	1.4
	大学卒	201.8	-1.6	200.2	-0.8	202.9	1.3	204.5	0.8	205.9	0.7
	高専・短大卒	173.0	-1.4	174.2	0.7	176.1	1.1	177.3	0.7	179.7	1.4
	高校卒	160.1	0.4	158.9	-0.7	161.3	1.5	163.4	1.3	163.5	0.1
女	大学院修士課程修了	228.4	-3.8	230.0	0.7	230.7	0.3	228.5	-1.0	229.7	0.5
	大学卒	196.5	-0.7	195.1	-0.7	197.2	1.1	198.8	0.8	200.0	0.6
	高専・短大卒	168.4	-1.2	171.2	1.7	172.8	0.9	174.6	1.0	175.2	0.3
	高校卒	153.6	1.2	151.3	-1.5	154.2	1.9	156.2	1.3	157.2	0.6

第12図 性、学歴別初任給の推移

▨平成24年 ▩平成25年 ▧平成26年 ▦平成27年 ■平成28年



(2) 企業規模別にみた初任給

企業規模別の初任給を学歴別にみると、大学卒では、大企業（常用労働者1,000人以上）及び小企業（同10～99人）で男女ともに、中企業（同100～999人）では女性で前年を上回っている。また、高校卒では、大企業では男性で、中企業及び小企業では女性で前年を上回っている。

初任給の企業規模間格差（大企業=100）をみると、大学卒では、小企業で男女ともに、高校卒では、中企業、小企業ともに女性で、それぞれ前年に比べ大企業との格差が縮小している。

（第16表）

第16表 性、企業規模、学歴別初任給、対前年増減率及び企業規模間格差

性、企業規模 ¹⁾		大学院修士課程修了			大 学 卒			高専・短大卒			高 校 卒			
		初任給 (千円)		対前年 増減率 (%)	初任給 (千円)		対前年 増減率 (%)	初任給 (千円)		対前年 増減率 (%)	初任給 (千円)		対前年 増減率 (%)	
		平成28年	27年		平成28年	27年		平成28年	27年		平成28年	27年		
初任給及び対前年増減率	男女計	企業規模計	231.4	228.5	1.3	203.4	202.0	0.7	176.9	175.6	0.7	161.3	160.9	0.2
		大企業	234.8	232.2	1.1	206.9	205.2	0.8	184.5	183.3	0.7	163.8	162.5	0.8
		中企業	224.9	221.1	1.7	201.1	201.1	0.0	176.6	176.6	0.0	159.6	159.6	0.0
		小企業	219.2	222.2	-1.4	199.1	194.9	2.2	173.1	169.6	2.1	161.2	161.5	-0.2
	男	企業規模計	231.7	228.5	1.4	205.9	204.5	0.7	179.7	177.3	1.4	163.5	163.4	0.1
		大企業	234.9	232.0	1.3	209.5	206.9	1.3	184.1	180.9	1.8	164.9	163.1	1.1
		中企業	224.6	220.8	1.7	203.6	204.1	-0.2	178.6	177.8	0.4	161.6	162.0	-0.2
		小企業	221.6	222.2	-0.3	201.9	198.1	1.9	176.6	171.6	2.9	164.7	166.1	-0.8
	女	企業規模計	229.7	228.5	0.5	200.0	198.8	0.6	175.2	174.6	0.3	157.2	156.2	0.6
		大企業	234.4	233.6	0.3	203.5	203.1	0.2	185.0	185.2	-0.1	160.8	160.9	-0.1
		中企業	225.8	221.9	1.8	197.7	197.2	0.3	175.1	175.6	-0.3	156.9	156.1	0.5
		小企業	213.8	222.1	-3.7	195.9	191.5	2.3	172.2	169.0	1.9	154.3	151.8	1.6
企業規模間格差	男女計	中企業	95.8	95.2	/	97.2	98.0	/	95.7	96.3	/	97.4	98.2	/
		小企業	93.4	95.7	/	96.2	95.0	/	93.8	92.5	/	98.4	99.4	/
	男	中企業	95.6	95.2	/	97.2	98.6	/	97.0	98.3	/	98.0	99.3	/
		小企業	94.3	95.8	/	96.4	95.7	/	95.9	94.9	/	99.9	101.8	/
	女	中企業	96.3	95.0	/	97.1	97.1	/	94.6	94.8	/	97.6	97.0	/
		小企業	91.2	95.1	/	96.3	94.3	/	93.1	91.3	/	96.0	94.3	/

注：1) 企業規模については、常用労働者1,000人以上の企業を大企業、100～999人の企業を中企業、10～99人の企業を小企業としている。

2) 企業規模間格差については、大企業の初任給を100としている。

(3) 産業別にみた初任給

主な産業について初任給を学歴別にみると、大学卒では、男性は「建設業」（213.2千円）、女性は「情報通信業」（210.9千円）が最も高くなっている。一方、最も低い産業は、男性は「宿泊業，飲食サービス業」（194.1千円）、女性は「運輸業，郵便業」（185.2千円）となっている。高校卒では、男性は「情報通信業」（172.4千円）、女性は「生活関連サービス業，娯楽業」（164.7千円）が最も高くなっている。一方、最も低い産業は、男性は「医療，福祉サービス業」（148.2千円）、女性は「金融業，保険業」（150.6千円）となっている。（第17表）

第17表 性、主な産業、学歴別初任給及び対前年増減率

性、産業	大学院修士課程修了			大 学 卒			高専・短大卒			高 校 卒			
	初任給 (千円)		対前年 増減率 (%)	初任給 (千円)		対前年 増減率 (%)	初任給 (千円)		対前年 増減率 (%)	初任給 (千円)		対前年 増減率 (%)	
	平成28年	27年		平成28年	27年		平成28年	27年		平成28年	27年		
男	産 業 計 ¹⁾	231.4	228.5	1.3	203.4	202.0	0.7	176.9	175.6	0.7	161.3	160.9	0.2
	建 設 業	235.1	228.8	2.8	210.2	209.7	0.2	184.8	184.7	0.1	170.3	168.1	1.3
	製 造 業	229.5	228.5	0.4	202.0	202.0	0.0	176.8	175.4	0.8	161.4	161.5	-0.1
	情 報 通 信 業	238.4	228.8	4.2	212.0	209.0	1.4	189.3	183.9	2.9	168.7	163.1	3.4
	運 輸 業 ， 郵 便 業	210.2	228.2	-7.9	192.8	189.3	1.8	168.0	175.9	-4.5	161.2	167.3	-3.6
	卸 売 業 ， 小 売 業	235.6	229.3	2.7	203.8	201.6	1.1	173.3	174.2	-0.5	161.7	157.7	2.5
	金 融 業 ， 保 険 業	233.5	231.3	1.0	202.7	201.2	0.7	174.4	165.1	5.6	150.6	158.4	-4.9
	学術研究，専門・技術サービス業	229.2	228.5	0.3	204.2	212.2	-3.8	185.3	172.2	7.6	162.9	158.5	2.8
	宿泊業，飲食サービス業	196.1	* 199.9	-1.9	191.7	193.0	-0.7	167.4	165.2	1.3	159.2	155.9	2.1
	生活関連サービス業，娯楽業	212.6	212.8	-0.1	204.8	201.8	1.5	172.5	166.4	3.7	165.1	168.4	-2.0
女	産 業 計 ¹⁾	231.7	228.5	1.4	205.9	204.5	0.7	179.7	177.3	1.4	163.5	163.4	0.1
	建 設 業	235.2	228.3	3.0	213.2	210.3	1.4	187.0	185.4	0.9	170.6	168.9	1.0
	製 造 業	229.4	228.5	0.4	203.3	203.1	0.1	179.6	178.3	0.7	162.6	162.6	0.0
	情 報 通 信 業	238.3	228.1	4.5	212.5	208.5	1.9	187.8	184.9	1.6	172.4	169.1	2.0
	運 輸 業 ， 郵 便 業	209.7	228.9	-8.4	198.1	193.6	2.3	174.1	180.1	-3.3	162.6	169.9	-4.3
	卸 売 業 ， 小 売 業	235.5	229.6	2.6	205.6	204.2	0.7	174.3	173.8	0.3	166.0	159.1	4.3
	金 融 業 ， 保 険 業	234.4	231.3	1.3	208.3	206.0	1.1	197.3	195.8	0.8	151.1	155.9	-3.1
	学術研究，専門・技術サービス業	229.2	228.8	0.2	204.2	212.2	-3.8	192.1	175.0	9.8	162.6	160.1	1.6
	宿泊業，飲食サービス業	* 161.8	* 205.7	-21.3	194.1	201.2	-3.5	168.6	166.5	1.3	163.8	160.4	2.1
	生活関連サービス業，娯楽業	* 234.9	219.0	7.3	209.6	207.2	1.2	173.1	167.8	3.2	166.3	172.8	-3.8
計	教育，学習支援業	235.9	233.1	1.2	203.2	207.4	-2.0	179.4	174.9	2.6	160.2	163.4	-2.0
	医 療 ， 福 祉 サービス業	228.1	220.6	3.4	196.7	201.1	-2.2	184.1	182.1	1.1	148.2	146.4	1.2
	(他に分類されないもの)	218.3	237.0	-7.9	202.8	200.1	1.3	178.4	178.9	-0.3	162.6	162.2	0.2
	産 業 計 ¹⁾	229.7	228.5	0.5	200.0	198.8	0.6	175.2	174.6	0.3	157.2	156.2	0.6
	建 設 業	234.2	233.4	0.3	202.5	207.8	-2.6	179.3	182.0	-1.5	163.2	156.5	4.3
	製 造 業	229.8	228.5	0.6	198.7	199.4	-0.4	171.5	170.3	0.7	158.4	158.2	0.1
	情 報 通 信 業	238.6	233.0	2.4	210.9	209.8	0.5	194.4	180.6	7.6	161.5	158.8	1.7
	運 輸 業 ， 郵 便 業	213.4	222.0	-3.9	185.2	182.4	1.5	157.6	169.3	-6.9	154.6	153.5	0.7
	卸 売 業 ， 小 売 業	236.2	228.4	3.4	201.3	197.4	2.0	172.1	174.7	-1.5	158.4	156.5	1.2
	金 融 業 ， 保 険 業	232.1	231.4	0.3	198.0	197.5	0.3	172.2	160.8	7.1	150.6	158.7	-5.1
女	学術研究，専門・技術サービス業	229.4	227.2	1.0	204.1	212.2	-3.8	174.2	169.4	2.8	163.8	154.5	6.0
	宿泊業，飲食サービス業	197.6	* 196.5	0.6	190.4	188.1	1.2	166.7	164.2	1.5	156.7	153.3	2.2
	生活関連サービス業，娯楽業	204.2	200.9	1.6	201.2	197.4	1.9	172.2	165.8	3.9	164.7	166.9	-1.3
	教育，学習支援業	234.3	226.0	3.7	199.1	196.4	1.4	175.6	173.8	1.0	156.4	149.1	4.9
	医 療 ， 福 祉 サービス業	207.6	215.2	-3.5	196.8	198.3	-0.8	178.2	178.8	-0.3	152.9	152.3	0.4
	(他に分類されないもの)	223.0	238.6	-6.5	205.0	199.8	2.6	163.5	166.7	-1.9	156.8	152.1	3.1

注：1) 産業計には、上掲の産業のほか、鉱業，採石業，砂利採取業、電気・ガス・熱供給・水道業、不動産業、物品賃貸業及び複合サービス事業を含む。

(4) 学歴別にみた初任給の分布

初任給の分布を学歴別にみると、大学卒では、男女とも20万円台が最も多く、それぞれ33.2%、24.8%となっている。高校卒では、男女ともに16万円台が最も多く、それぞれ41.6%、30.0%となっている。(第18表)

第 18 表 初任給の階級、性、学歴別新規学卒者数割合

平成28年

初任給の階級	男				女				計			
	大学院 修士課程 修了	大 学 卒	高専・短大卒	高 校 卒	大学院 修士課程 修了	大 学 卒	高専・短大卒	高 校 卒	大学院 修士課程 修了	大 学 卒	高専・短大卒	高 校 卒
千円	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
～ 109.9				0.7				0.6				0.8
110.0 ～ 119.9				0.3				0.3				0.3
120.0 ～ 129.9			0.3	1.6			0.1	1.0			0.4	2.7
130.0 ～ 139.9			1.5	4.4			1.3	2.7			1.6	7.4
140.0 ～ 149.9		0.7	4.9	10.9		0.5	3.9	7.4		0.9	5.5	17.2
150.0 ～ 159.9		1.2	12.3	21.5		0.9	8.8	20.0		1.7	14.3	24.2
160.0 ～ 169.9	0.3	3.0	19.1	37.5	0.3	2.0	14.9	41.6	0.2	4.4	21.5	30.0
170.0 ～ 179.9	0.2	6.2	21.0	14.1	0.1	4.6	22.4	16.1	0.3	8.3	20.2	10.7
180.0 ～ 189.9	1.4	9.8	17.8	5.3	0.8	7.3	23.7	6.4	4.6	13.1	14.3	3.3
190.0 ～ 199.9	2.8	15.7	9.1	1.7	2.6	13.4	10.1	1.5	3.7	18.8	8.5	1.9
200.0 ～ 209.9	3.9	29.6	6.3	2.1	3.4	33.2	6.6	2.4	6.6	24.8	6.1	1.4
210.0 ～ 219.9	12.4	15.9	3.3		12.7	19.0	3.9		11.1	11.9	3.0	
220.0 ～ 229.9	20.8	8.9	1.5		20.5	9.7	1.1		21.9	7.9	1.7	
230.0 ～ 239.9	36.4	3.4	3.0		37.9	3.3	3.1		29.2	3.5	2.9	
240.0 ～ 249.9	12.5	2.5			12.7	2.7			11.8	2.2		
250.0 ～ 259.9	1.6	1.1			1.7	1.1			1.2	1.0		
260.0 ～ 269.9	2.2	1.7			2.1	1.9			2.5	1.4		
270.0 ～ 279.9	1.3				1.2				2.0			
280.0 ～ 299.9	3.2				3.1				3.4			
300.0 ～	1.0	0.3			0.8	0.3			1.5	0.3		
平均額(千円)	231.4 (228.5)	203.4 (202.0)	176.9 (175.6)	161.3 (160.9)	231.7 (228.5)	205.9 (204.5)	179.7 (177.3)	163.5 (163.4)	229.7 (228.5)	200.0 (198.8)	175.2 (174.6)	157.2 (156.2)
第1・十分位数(千円) ¹⁾	210.8 (210.2)	177.8 (174.8)	152.8 (151.2)	142.5 (141.5)	211.5 (210.9)	181.9 (180.8)	156.1 (154.8)	146.8 (145.7)	201.3 (202.1)	173.0 (170.7)	151.6 (150.3)	137.7 (136.3)
中位数(千円) ¹⁾	232.6 (228.0)	204.6 (202.5)	175.1 (174.8)	162.1 (161.2)	232.8 (228.3)	206.0 (205.3)	179.2 (176.4)	163.8 (162.2)	230.5 (227.0)	200.8 (200.4)	172.2 (172.3)	158.3 (157.1)
第9・十分位数(千円) ¹⁾	247.4 (244.3)	227.2 (227.0)	204.5 (202.4)	178.2 (179.5)	247.1 (243.4)	228.4 (227.9)	204.7 (201.5)	180.2 (181.6)	252.6 (250.2)	226.0 (226.1)	204.4 (203.7)	175.3 (174.0)
十分位分散係数 ²⁾	0.08 (0.07)	0.12 (0.13)	0.15 (0.15)	0.11 (0.12)	0.08 (0.07)	0.11 (0.11)	0.14 (0.13)	0.10 (0.11)	0.11 (0.11)	0.13 (0.14)	0.15 (0.15)	0.12 (0.12)

注：()内は、平成27年の数値である。

- 1) 分位数とは、分布の形を示す値である。具体的には、新規学卒者を初任給の低い者から高い者へと一列に並べて、低い方から全体の10分の1番目に該当する者の初任給が第1・十分位数、高い方から数えて全体の10分の1番目に該当する者の初任給が第9・十分位数、低い方(あるいは高い方)から数えて全体の2分の1番目(真ん中)に該当する者の初任給が中位数である。
- 2) 十分位分散係数とは、分布の広がりを示す指標の一つであり、次の算式により計算された数値をいう。一般に、その値が小さいほど分布の広がりの程度が小さいことを示す。

$$\text{十分位分散係数} = \frac{\text{第9・十分位数} - \text{第1・十分位数}}{2 \times \text{中位数}}$$

